

NIEの活用

習熟度に応じた指導

1時間完結型

学び合い

ユニバーサルデザイン

ICT活用

アクティブラーニング

学校図書館活用

授業の中で 一人ひとりの学びの保障

自尊感情

授業の中で自分の居場所がある

一人ひとりの「学び」がある授業

子どもの意見を聴く

子どもの力を信じる

子ども同士のつながりを大切にする

生徒を取り巻く社会的・地域的・家庭的・学校の情勢
耶馬溪中学校の昨年までの成果・課題
耶馬溪中学校の現状・課題

原因は

学校で何ができるか

授業で何ができるか

学級経営で何ができるか

昨年成果・課題 別紙

今年度現状・課題 教職員はどうとらえているのか

ストレスを多く抱えている

自己評価が甘い

自分の考えを持ち
伝えることができていない

家庭
友人関係
学習

客観的に見るとできていないのに
できていっている

授業に向かえていない

原因は

学習に向かう環境づくり

ストレスなく授業に臨み、学習規律が客観的にも確立し、自分に自信を持って発言できる

どんな生徒を育てたいのか

自尊感情を持った
学びに素直に向かう生徒

生徒の自尊感情を高め、
よりよい学びの素地を養う

ロールレタリング
マンダラ絵

授業評価を核としたPD
CAサイクルの確立

教師→生徒 5点評価
教師の自己評価
生徒アンケート

「よいよく生きる力」「活
用力」を育む

新聞を使った実践

校内研究 主題設定の流れ

生徒を取り巻く社会的情勢
地域的・家庭的・学校の情勢
生徒の実態
耶馬溪中学校の昨年までの成
果・課題
耶馬溪中学校の現状・課題
本年度の研究の方向性

<会議の中 全体で交流 確認>

仲間と積極的にかかわり、自ら学びに向かう生徒の育成
～生徒指導の3機能を生かし、自尊感情を高める授業づくり～

主題設定の理由

<会議での意見を踏まえ> (案)

生徒を取り巻く社会的情勢
地域的・家庭的・学校の情勢
生徒の実態
耶馬溪中学校の昨年までの成果・課題
耶馬溪中学校の現状・課題
本年度の研究の方向性

キーワード

自己存在感の欠如
二極化
子どもたちの学力 学ぶ意欲
規範意識の低下
自ら幸せな生き方を選択できる力
自尊感情

学びからの逃避
今を生きる自信と
明日につながる希望

素直 素朴
自ら進んで判断
自ら実行
自己指導能力
コミュニケーション能力
学ぶ意欲 表現力

協働の学び
見えない学力
教職員が変わる 授業 自己開示

認め合い
学び合うことができる共感
的人間関係
生涯にわたって自己を活
かす学力

教材・活動の工夫
授業法
思考の深まりを促す課題
能動的なよくづけ
コミュニケーション能力の
向上

仲間と積極的にかかわり、自ら学びに向かう生徒の育成
～生徒指導の3機能を生かし、自尊感情を高める授業づくり～

研究仮説

研究内容
研究方法
研究計画

◆すべての児童生徒に「出番」を与える

生徒指導では、画一的になりがちな各教科指導の中に、すべての児童生徒が一人の例外もなく、それぞれ個性的に自己実現できるように助力する。

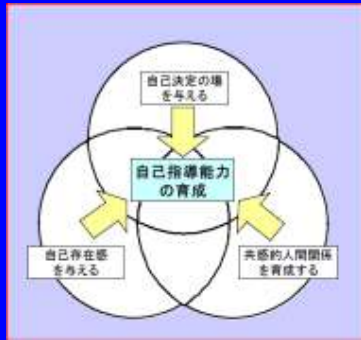
もっとくわいていけば、すべての児童生徒に「出番」を与えることである。

一人ひとりの児童生徒が、各教科の時間に、自分の考え方、感じ方をもって（自己決定）、それをみんなの前に示す（自己存在感）。そして、児童生徒はたがいにそれぞれの相手を受容していく（人間的ふれあい）。これを十分に行うことが、教科指導における生徒指導ということである。

「確かな生きる力」を獲得できる生徒の育成

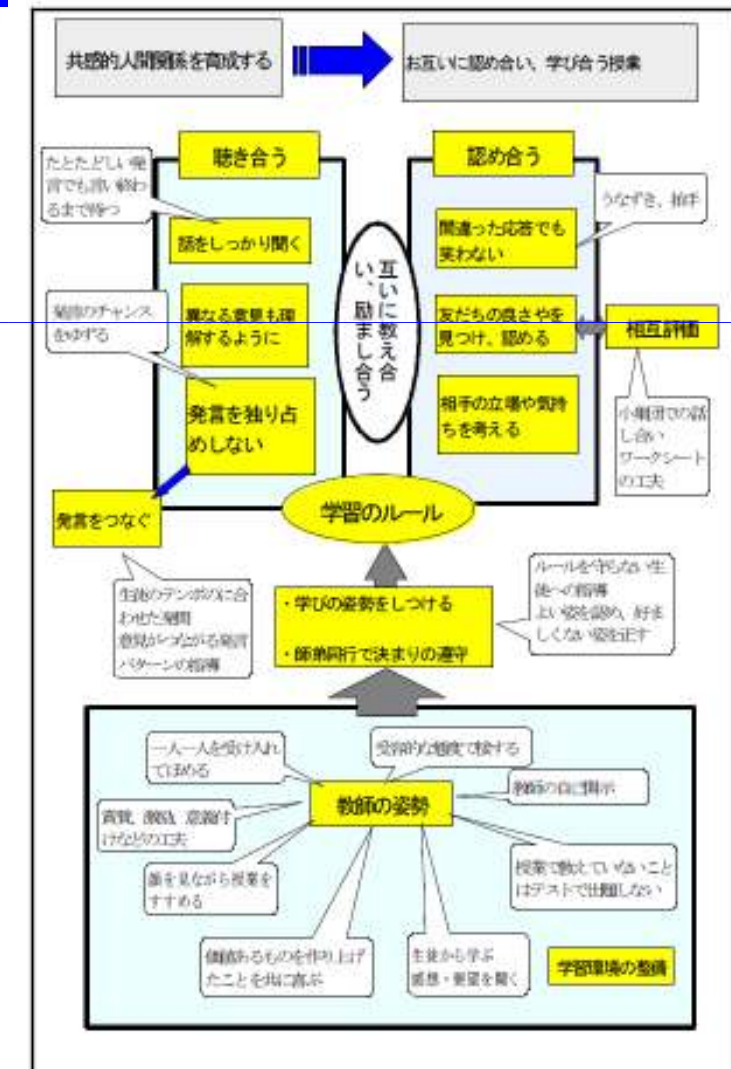
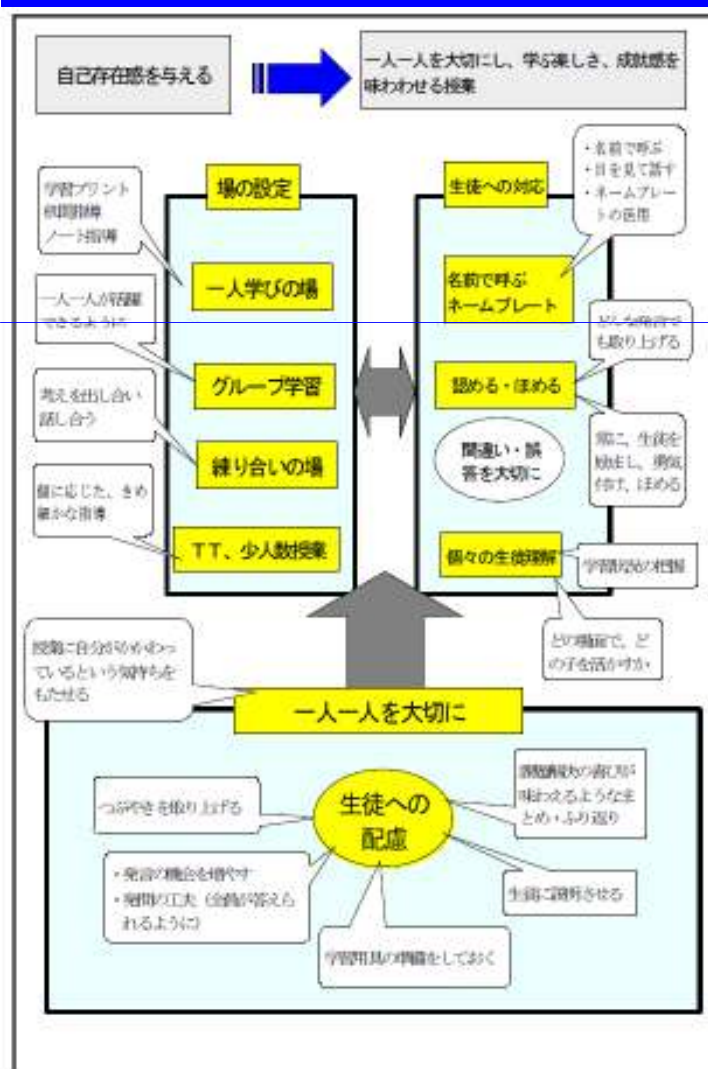
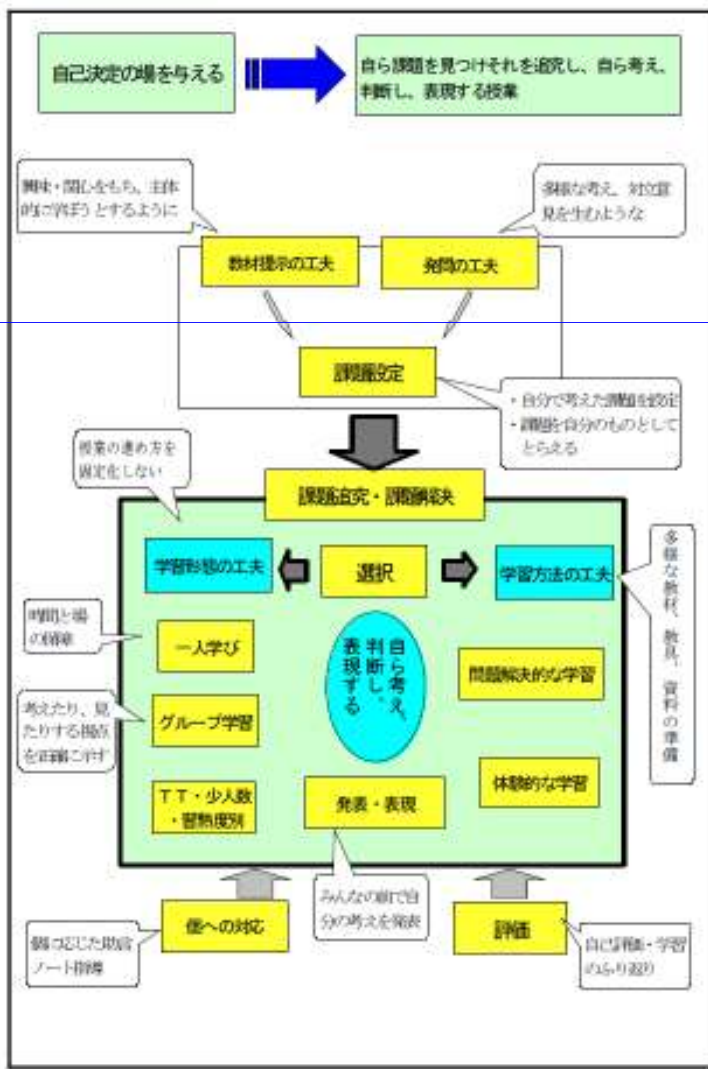
自ら学びに向かう生徒の育成

自己指導能力



授業の中で生徒指導の3つの機能を生かす

今後具体的な手立ての中の焦点化が必要



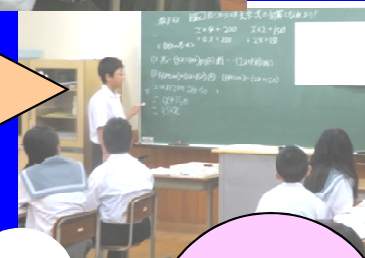
優しく強い心

健康・命

学ぶ力

「幸せな生き方の選択ができる」

仲間と積極的にかかわり、自ら学びに向かう生徒の育成
～互いに学び合う効果的なグループ学習のあり方～



聞き方
あいうえお

話方
かきくけこ
あいうえお

QU

NIE

ストレスマネジメント
ロールレタリング
マングラ塗り絵

1分間スピーチ

生徒評価

ペア学習

グループ学習

学びのやくそく

耶学のすすめ

天声人語

読書週間

UD研修

人権研修

特別支援研修

アンガーマネジメント支援研修

めあて・まとめの
提示(完結型)

教師の自己開示

共感的人間関係

学ぶことが楽しい

伝えたい

自分の存在が認められている

自分も参加できる

安心して学べる

居場所がある

自分が感じたことを
大事に思う

自分の考えを持つ

自己
指導
能力

自尊
感情

自己存在感

自己決定

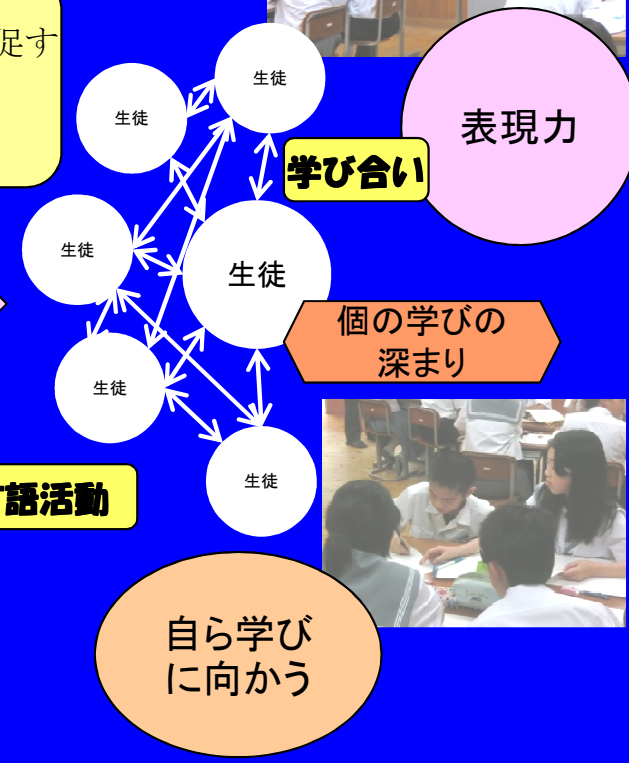


仲間との積極的な
かかわり

思考の深まりを促す
課題の設定

グループ学習

言語活動



日常の授業の場

課題解決の流れの中で

仲間と積極的にかかわり、自ら学びに向かう生徒の育成 ～互いに学び合う効果的なグループ学習のあり方～

- 生徒の実態**
本単元の指導事項に関する生徒の実態の把握
- 指導事項**
本単元で、本授業で身につけさせたい力。
- 目標**
指導事項から指導目標を設定する。
- 評価規準**
指導目標が実現できているときの学習者の姿

